



## 第14号

2015. 1. 22

### 1. いつくしみの特別聖年にあたっての「世界平和の日」

1968年1月1日、ベトナム戦争が激化する中、時の教皇パウロ6世がこの日を「世界平和の日」と定め、戦争や分裂、憎しみや飢餓の無い平和な世界実現のために祈るよう呼びかけました。それ以来、全世界のカトリック教会は、元旦を世界平和のために特別に祈る日としています。キリスト者にとって平和を唱えることはキリストを伝えること、信仰の原点に立ち返ることです。

かつてないほど平和のための祈りを必要としている今年の「世界平和の日」は、いつくしみの聖年の特別な日にもあたります。いつくしみの特別聖年の「世界平和の日」メッセージで教皇フランシスコはこのように呼びかけておられます。「1. 神は無関心ではありません。神は人類を大切にしてください。神は私たちを見捨てません。…2016年が、様々な分野で確固たる信念のうちに正義と平和のための活動が行われる年となるよう望んでやみません。そうです。平和は神の賜であると同時に人間の業でもあります。平和は神の賜ですが、その賜は平和を実現させるよう招かれているすべての人に委ねられているのです。」「5. 神はモーセに言います。“私は、エジプトにいる私の民の苦しみをつぶさに見、追い使う者の故に叫ぶ彼らの叫び声を聞き、その痛みを知った。それ故、私は下ってゆき、エジプト人の手から彼らを救い出し、この国から、広々とした素晴らしい土地、乳と蜜の流れる土地…へ彼らを導き上る”（出エジプト3：7～8）神が介入することを表す動詞に注目することが重要です。神は見て、聞いて、知り、降って行き、救い出します。神は無関心ではありません。神は気遣い、行動してください。」私たちは祈りと行動に呼ばれているのです。神のいつくしみにより深く触れ、そのいつくしみを人々に伝えるために。

### 2. 「シャローム平和のための祈りのセンターの1月の意向」を共に祈りましょう

今月は以下の祈りの意向が寄せられました。岩倉ではこの意向を含め、1月23日（土）にロザリオの祈りが捧げられます。各共同体、または個人でもセンターの祈りの意向に合わせてお祈りください。

- ① 心の傷、心の病、精神障害を背負って苦しんでいる人、差別されている人々のために祈ります。私たちがこの人たちの苦しみを少しでも理解し、寄り添い、偏見をなくしていけますように。

- ② テロが多発する中、難民となった人々への排斥の動きが広がっています。この混乱の中で、苦しむ人々の声に耳を傾け、共に歩いていくことができますよう、力を与え導いて下さい。また、すでにそのために働いている人々には豊かな祝福をお与えください。
- ③ 阪神淡路大震災から21年目迎えた今年、あらためて犠牲となられた6434人の方々が主の御許で安らかに憩われますよう祈ります。そして、高齢化・孤立化の進む被災者の課題に解決の道が開かれ、震災の苦しみ・痛みを通して生まれた人の輪／和をはじめとする新たな希望が次世代に受け継がれ、より良い世界づくりの力となりますよう聖霊の導きを祈ります。
- ④ COP21（気候変動枠組会議）が採択した「パリ協定」を、日本が一日も早く批准できますよう、私たちが気候変動への危機感を深め、政界・財界を動かす力となれますよう導いてください。

### 3. 気候変動を抑えるために、世界が『パリ協定』で一致しました！

COP21は、粘り強い対話と交渉の末、参加した196ヶ国・地域すべてが合意する『パリ協定』を生み出すことができました。先進国、発展途上国、新興国、島国など夫々の国の異なる条件を抱えながらも、気候変動の地球環境に及ぼす影響が待ったなしのところまで来ているため、それぞれが譲るべきところは譲っても合意を最優先したからです。大きな目標は以下の2つです。① 気温上昇を産業革命前からの2度未満、できれば1.5度未満に抑える。② できるだけ早く世界の温室効果ガス排出量を頭打ちにし、今世紀後半には実質ゼロにする。この共通目標達成のため、それぞれの国が独自の達成目標とそのための方法を定めて国連に報告し、5年毎に見直しをして、全体としての目標達成に向けて各国の目標を引き上げることも決められました。また経済格差のある中での取り組みを可能にするために、先進国が途上国に資金援助をするだけでなく、途上国も更に苦しい状況にある国を支える責任を共有すること、気候変動で被害を受ける島国などの救済にも協力し合うことも協定に含まれています。『パリ協定』が歴史的合意と言われるゆえんです。気温が2度上昇することが人間生活にどれほどの影響を及ぼすかを知るために、NHKのエコチャンネルに「2050年、日本の天気予報」という番組があります。Yahooで検索してください。5分だけの大変わかりやすい番組ですので、是非トライしてみてください。

### 4. お知らせとお願い

- 「シャローム国際連帯の省察」2月分は1月末までにお手許にお届けします。ご活用ください。
- 「シャローム平和のための祈りのセンター2月の意向」を募集しています。多くの皆さまの応募をお待ちしています。都合により、来月は少し早いですが、2月10日までに本部事務室またはS. ジュディスまでお届けください。よろしく願いいたします。
- 12月16日のNDクリスマスミニバザーで「京都ND女子大学教職員のお店」として出店したバザーへの、物品ご寄贈、お買いものなどによるご協力をありがとうございました。この店の売り上げ37,525円は、全額、学校法人本部を通して、ネパールND校・東日本大震災被災地へ送金されました。
- 「戦争法の廃止を求める統一署名」用紙を再度同封します。前回の便りでもご案内しましたが、この署名は「日本を再び戦争する国にさせない」という強い意志を持つ人々が、思想・信条の枠を超え、昨年9月19日に強行採決された「平和安全保障関連法」の廃止と立憲主義の堅持、

憲法9条を守り生かすことを目指して行っています。カトリック教会では、社会司教委員会(委員長大塚喜直司教)と常任司教委員会(委員長岡田武夫大司教)から呼びかけられています。2000万筆の署名を集めるのは並大抵ではありません。幅広い呼びかけと協力が必要です。是非お知り合いの方々にもお声をかけてみてください。教会にも署名用紙は置いてありますが、中々埋まっていないのが現状のようです。**次の集結は2月11日(木)**としますので、更なるご協力をよろしくお願い申し上げます。集まりました署名は本部事務室または小竹藪町のシスタージュディスまでお届けください。これまでに**SSNDが集めた署名は141筆**です。

- 「どこでも誰にでも、放射能検診の実施を要求します」の署名には**59筆が集まりました**。まだお手許に署名用紙が残っていれば至急本部事務室またはシスタージュディスまでお届けください。
- 「バイバイ原発 3.12きょうと」が3月12日1時半から円山公園野外音楽堂で開かれます。3時からデモ行進があります。チラシを同封しますのでご覧ください。チラシは数枚同封していますので、できましたら他の方々にもお配りください。

#### 5. 日韓両政府による「旧日本軍による従軍慰安婦問題に関する合意」に懸念

韓国の司教協議会・正義と平和委員会担当であるユ・フンシク司教はこの問題に関する政府間合意は、人間の基本権を「経済と外交の論理に置き換えている」として、この問題は原点から再検討する必要がある、と深い懸念を表明しておられます。日本の正義と平和協議会担当の勝谷太治司教もこの件に関して、「謝罪は、被害者の名誉と尊厳がきちんと回復される方法で、直接本人たちになされるべきで、このような方法では形式的謝罪としか言えない。」と述べ、また、在韓日本大使館前に設置された慰安婦を模した少女像を撤去するよう日本政府が求めているのに対しては、「少女像は、被害者たちの尊厳回復の闘いの印として、民間が設置したもので、日本にとっては都合の悪い歴史であっても、今後も記憶にとどめるために撤去の要求をしないしてほしいと考えます」と意見を表明しておられます。